



【お知らせ】

令和4年3月31日
統合幕僚監部

統合幕僚長の米国訪問について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和4年3月31日（木）（現地時間3月30日（水））、米インド太平洋軍司令部（ハワイ、キャンプ スミス）等において、米軍各指揮官との会談を行いました。

ミリー米統合参謀本部議長との会談では、北朝鮮による一連の弾道ミサイルの発射やロシアによるウクライナ侵略を含む最近の情勢について認識共有を図るとともに、日米首脳会談及び日米「2+2」の成果を踏まえた、今後の日米連携の強化に向けた取組について意見交換を行いました。その中で、我が国の防衛に対する米国の揺るぎないコミットメントについて再確認するとともに、日米共同による抑止力・対処力を一層強化し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、日米同盟を基軸とした多国間協力を強化していくことで一致しました。更に、力による一方的な現状変更は決して許されないものであることも改めて確認しました。

アクイリーノ米インド太平洋軍司令官との会談では、インド太平洋地域の安全保障環境や北朝鮮による一連の弾道ミサイルの発射等の我が国周辺の情勢について認識を共有するとともに、自衛隊とインド太平洋軍の協力によって日米同盟の抑止力・対処力を更に強化していくことで一致しました。

また、山崎統合幕僚長は、ラカメラ在韓米軍司令官、パパロ米太平洋艦隊司令官、ウィルズバック米太平洋空軍司令官とも、それぞれ会談を行い、朝鮮半島情勢を含む安全保障環境の認識を共有するとともに、各種共同訓練などを通じた日米による抑止力・対処力の向上について意見を交換しました。

